

目安箱に寄せられたご意見等（令和5年11月～令和6年1月）について

令和6年4月25日

（主なご意見（1））

「研修認定薬剤師」と「漢方薬・生薬認定薬剤師」の両方の認定申請に使用可能な研修（単位）がありますが、ぱっと見では非常に分かりづらい。

（今後の対応方針）

PECS は令和4年4月に本格稼働しましたが、必要な改良は優先順位を付けて行っています。いただいたご要望については、今後の改良に役立てたいと考えています。

（主なご意見（2））

研修実施機関側が集合研修会で受付を行う際、PECS の画面での入室退室の切り替えミスを起こしてしまう可能性があるため、システム上で「入」、「出」の区別がはっきりするようにしてほしい。

（今後の対応方針）

PECS は令和4年4月に本格稼働しましたが、必要な改良は優先順位を付けて行っています。現在、入室退出の切り替えミスを起こさないようにするため、QRコードの読み取りを行う入室画面と退出画面をはっきり識別できるようにする改修をすすめています。

（主なご意見（3））

講師用の単位はどのように申請できるのでしょうか。

（回答）

認定手続き等の電子化に伴い実施要領が改定され、講師は実施要領の第10条(7)に基づく自己研修等報告書を提出して、認められれば単位が付与されます。単位の請求方法の詳細については、ホームページに掲載の下記「PECS による自己研修等の単位請求方法について」でご確認ください。

<https://www.jpec.or.jp/faq/about/ninteitetudukidenshika.html>

●6 PECS による自己研修等の単位請求方法について(PDF)

(主なご意見 (4))

研修会が開催される都市に住んでいないので、研修会に参加することが難しい。また、研修会毎の参加資格や開催方法などについては、どのように調べれば良いか。

(回答)

当財団の研修認定薬剤師制度に則り単位交付され、地元で受講できる研修については、主に3つあり、①地元の各都道府県内で開催される集合研修、②当財団主催の e-ラーニング研修、③登録された実施機関 (7社) による e-ラーニング研修、となります。

①の各都道府県で開催される集合研修会については、順次、当財団のホームページ (下記 URL 参照) に掲載していますので、参加できそうな研修会を調べてください。研修会によっては、参加資格、参加費用が必要な場合や定員により受講申込を締め切っている場合等がありますので、あわせて案内しているそれぞれの連絡先にご確認の上、ご参加下さい。

②、③の e-ラーニングは、薬剤師が自ら必要な研修項目を選択し、時間にとられることなく自己で計画を立てて学習できるものです。

①「各都道府県で開催される集合研修会」

[http://www.jpec.or.jp/kenshu/jyukou/kenshunintei\\_todoufuken.html](http://www.jpec.or.jp/kenshu/jyukou/kenshunintei_todoufuken.html)

②「当財団主催研修会の e-ラーニング」

[https://www.jpec.or.jp/kenshu/jyukou/kenshunintei\\_e-learning.html](https://www.jpec.or.jp/kenshu/jyukou/kenshunintei_e-learning.html)

③「e-ラーニング研修 (登録された実施機関によるもの)」

[https://www.jpec.or.jp/kenshu/jyukou/kenshunintei\\_internet.html](https://www.jpec.or.jp/kenshu/jyukou/kenshunintei_internet.html)

(主なご意見 (5))

登録された実施機関による e-ラーニング研修については、受講から単位の取得までに時間がかかっているが、もっと早くならないか。

(今後の対応方針)

PEGS は令和 4 年 4 月に本格稼働しましたが、必要な改良は優先順位を付けて行っています。いただいたご要望については、今後の改良に役立てたいと考えています。

(主なご意見 (6))

地域連携・多職種連携など現場で役立つ研修会に参加した場合、単位の取得は可能か。

(回答)

認定手続き等の電子化に伴い、実施要領等が改定され、学習会参加についても「自己研修等の単位請求方法」によって、単位の請求ができません。詳細は、ホームページの「PECS による自己研修等の単位請求方法について」をご確認ください。

<https://www.jpec.or.jp/faq/about/ninteitetudukidenshika.html>

●6 PECS による自己研修等の単位請求方法について(PDF)

(主なご意見 (7))

薬剤師研修センターのホームページを見ると、見つけたい情報がすぐに見つけることができず、迷子になることが多々ある。改善して欲しい。

(主なご意見 (7-2))

薬剤師研修センターのホームページの「認定手続きの電子化 (お知らせ)」のページが非常に読み辛い。再整理する必要がある。

(今後の対応方針)

ホームページを見やすいものにするように順次改良を行います。一度に、全てを改善することは困難ですので、ご理解をお願いします。

(主なご意見 (8))

開催申請した研修会を研修センターで審査する際、研修のタイトルだけで研修の内容を判断されているようであるが、内容についてもきちんと確認して判断して欲しい。

(回答)

研修会開催申請については以前より同様のご意見もあったことから、令和6年4月より、PECS上の研修会開催申請ページを一部見直しました。具体的には、研修会案内やプログラム等がある場合、PDFファイルにして添付できる欄を設けました。また、研修会の目的やどのような講演を行うのかの詳細を記入し

ていただく「研修会企画意図」又は「内容の要旨」の欄を設けました。

(主なご意見 (9))

薬用植物園実習の申込時の事前アナウンスが十分でない。新規申込者を優先するのは理解できるが、定員に空きがある場合の申込時期が不明瞭なので改善して欲しい。

(今後の対応方針)

ご指摘のように薬用植物園実習については新規申込者を優先していますが、定員に空きがある場合の申し込み方法については、改善が必要と思います。今後は、事前にアナウンスを行い周知期間後に申し込みができるような方策などを検討してまいります。